



田辺がベスト4進出

県高校総体サッカー

県高校総体サッカーの3回戦6試合と準々決勝4試合が27、28日、田辺市と上富田町であった。紀南勢では田辺が10年ぶりに準決勝進出を決めた。

28日上富田スポーツセン
ターであった田辺―桐蔭の準
々決勝は、激しくボールを奪
い合う均衡した試合展開にな
った。田辺は粘り強い守りで
相手の攻撃をしのぎ、終盤に

攻撃のリズムをつかむと、後半終了間際に中央から抜け出したMF森本優治(3年)が決勝点を挙げ1―0で勝った。

26年ぶり全国出場狙う

「よっしゃー」。試合終了の笛が鳴ると、田辺の主将MF森本が雄たけびを上げた。メンバーはほっとした様子で、ハイタッチするなどしてベスト4進出を喜んだ。前半から桐蔭のペースで試合が進んだが、終盤に相手の足が止まり始め、田辺が攻勢に転じた。27日の近大新宮戦でも決勝のゴールを奪った森本が、

またも決定的な仕事をした。田辺の中山和監督(37)は

試合終了間際に決勝のゴールを決め、喜ぶ田辺の森本優治(中央)ら。28日、上富田スポーツセンターで

「最後まで諦めずに気持ちで戦うことができた。(決勝点は)3、4人でつないで崩すという練習で取り組んでいた形を出すことができた」と振り返り、選手たちの健闘をたたえた。田辺が県総体でベスト4に進出するのは、2007年以来。1991年の県総体で優勝して以来、26年ぶりの全国高校総体出場を目指す。

準決勝は6月3日午前11時からと午後1時半から、決勝は4日午後2時半から、3位決定戦は4日午前10時から、いずれも上富田スポーツセンターである。田辺は準決勝第2試合で初芝橋本と対戦する。

優勝チームは全国高校総体

の出場権を得る。1、3位のチームは、6月17、19日に田辺スポーツパークと上富田スポーツセンターである近畿高校サッカー選手権大会に出場する。

県総体の紀南勢は新宮が準々決勝で敗れた。田辺工業、神島、近大新宮は3回戦で敗退した。ベスト8のチームは、10、11月にある全国高校サッカー選手権和歌山大会のシード権を得た。

27、28日にあつた3回戦と準々決勝の結果は次の通り。

3回戦 和歌山工業6―1 田辺工業、新宮1―0 那賀、田辺1―0 近大新宮、桐蔭3―0 神島、海南4―0 県和・和東、初芝橋本3―0 高準々決勝 和歌山北1―0 近大和歌山、和歌山工業2―0 新宮、田辺1―0 桐蔭、初芝橋本3―0 海南